

第9回 全国被災地 語り部シンポジウム in 東北

～ 3.11から何を学び、何を伝えていくか～

定員
200名
**参加
無料**

令和6年 **2月25日(日)**

■エクスカージョンプログラム: 2月25日(日)・2月26日(月)

会場 / **南三陸ホテル観洋** (宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99-17)

TEL.0226-46-2442

および南三陸町内・気仙沼市内・石巻市内



令和6年1月に発生した能登半島地震の犠牲者の皆さまに哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
あの東日本大震災発災から13年が経過しようとする今、災害の記憶・関心の風化は避けられず、災害伝承を取り巻く環境はより重要性が高まっています。
また今後も起こりうる自然災害に対し、過去の災害から何を学び、何を生かして備えるべきか、この先の未来の災害には待ったなしの状況が続きます。
災害を伝えてきた語り部の英知、知見、経験を紡ぎ、広く発信してきた私たちが次に取り組むべきものは何か。
各地の防災、減災、備災に繋げていくためにも次世代伝承(縦の伝承)と地域間伝承(横の伝承)をより広げ、
これからさらに「命を守り、守り続ける語り部」を東北の地で共有します。
多様な交流を創るシンポジウムに地域や世代を超えて皆さまが集うことを願います。

第3回ジャパン・ツーリズム
アワード大賞受賞

「震災を風化させないための
語り部バス」による
地域活性化への取り組み



【プログラム】

■2月24日(土)【プレイベント(浪曲+ミニトーク)】 19:45～21:00 浪曲師:菊地まどか氏&語り部ゲスト

■2月25日(日)

【エクスカージョンプログラム①】

▶震災を風化させないための語り部バス

【A.南三陸コース】 10:30～12:00

【B.気仙沼コース】 8:30～12:20

【第1部】▶開場 13:10～

▶開会セレモニー&オープニングプレゼン 13:30～13:55

▶基調講話 14:00～14:40

▶パネルディスカッション 14:45～16:15

【第2部】▶分科会(3会場) 16:30～17:50

①「あの日、あのとき、わたしは」

②「KATARIBEを世界へ」

③「次世代に伝え、広げ、繋げていくために」

【第3部】▶クローージング(全体総括・語り部宣言) 18:00～18:15

【懇親会】 18:45～20:00

【トークイベント】▶「南三陸てん店まっぷ」語り部座談会 20:10～21:00

■2月26日(月)

【エクスカージョンプログラム②】▶語り部バスオブションツアー

【A.南三陸を学び、感じるコース】(午前のみまたはフルコース)

【B.石巻を学び、感じるコース】

2/25(日) 無料シャトルバス【特別便】運行 予約制

往【仙台駅】10:20発⇒【南三陸ホテル観洋】12:00着

復【南三陸ホテル観洋】18:30発⇒【仙台駅】20:00着

南三陸ホテル観洋ホームページ URL▶<https://www.mkanyo.jp>

シンポジウムの詳細を随時UPいたしますのでご覧ください。

※プログラムの詳細・参加お申込み方法は裏面をご覧ください

■主催:全国被災地語り部シンポジウム in東北 実行委員会

(南三陸ホテル観洋・南三陸町地域観光復興協議会・北淡震災記念公園・北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア・Kataribe World Network・多文化と共生社会を育むワークショップ・エフエムわいわい)

■共催:(株)阿部長商店 南三陸ホテル観洋

■特別協力:(株)ほくだん 南三陸ホテル観洋協力会 (一社)東北みらい推進機構
(科研)首都直下地震等大規模災害のセーフティネットとしての準公営住宅の国際比較研究

■協力:(有)スガワラ電化

■後援:宮城県 宮城県教育委員会 気仙沼市 気仙沼市教育委員会 南三陸町 南三陸町教育委員会 (一社)気仙沼市観光協会
(一財)3.11伝承ロード推進機構 大川伝承の会 海の見える命の森実行委員会 他

WEBからも簡単にお申込みいただけます。

■お問合せ・お申し込みは…

実行委員会事務局(南三陸ホテル観洋内)

TEL:0226-46-2442 FAX:0226-46-6200

minamisanriku_somu@kanyo.co.jp



2月24日(土)	プレイベント	19:45 ~ 20:25 / 浪曲「命のらせん階段」(浪曲師:菊地まどか氏) 20:30 ~ 21:00 / シンポジウムミニトーク(語り部ゲスト)	南三陸ホテル観洋 5Fロビー
-----------------	---------------	--	----------------

2月25日(日)

エクスカーションプログラム① 震災を風化させないための語り部バス	
10:30 ↓ 12:00	【A.南三陸コース】 【南三陸ホテル観洋→戸倉地区→高野会館→防災対策庁舎周辺→ →南三陸ホテル観洋】
8:30 ↓ 12:20	【B.気仙沼コース】 【南三陸ホテル観洋→かなえ大橋経由→気仙沼お魚いちば→ →リアスアーク美術館→命のらせん階段見学→南三陸ホテル観洋】 ※「気仙沼お魚いちば」は途中乗車可。 ※リアスアーク美術館入館料600円別途
第1部	
13:30 ↓ 13:45	▶開会式 ・実行委員長挨拶/阿部 隆二郎(南三陸ホテル観洋代表取締役副社長) ・来賓挨拶
13:50 ↓ 13:55	▶オープニングプレゼン タイトル 「路～持続可能な発展へのみちを～」 佐藤 光莉 さん(バレットキッズ志津川教室・古川高校1年生)
14:00 ↓ 14:40	▶基調講話 「震災直後の南三陸町で1年間暮らして」～「南三陸日記」が教えてくれたこと～ 三浦 英之 氏(朝日新聞記者/ルポライター)
14:45 ↓ 16:15	▶メインディスカッション テーマ「あの震災から私たちは何を学び、何を伝えるか」 コーディネーター 後藤 一磨 氏(Kataribe World Network代表) パネリスト 佐藤 敏郎 氏(大川伝承の会共同代表/(-社) スマートサブライビジョン特別講師) 青木 淑子 氏(NPO法人富岡町3.11を語る会代表) 星野 真弓 氏((-社) 三月のひまわり代表理事/刺繍家) コメンテーター 三浦 英之 氏(朝日新聞記者/ルポライター)

第2部

▶分科会

- ①「あの日、あのとき、わたしは」
コーディネーター/小林 裕 氏((-社) 東北みらい推進機構副理事長)
パネリスト/宮本 肇 氏(元 淡路市産業振興部長)
丹野 祐子 氏(津波復興祈念資料館 関上の記憶代表)
佐藤 誠悦 氏(東日本大震災語り人)
- ②「KATARIBEを世界へ」
コーディネーター/平林 英二 氏(人と防災未来センター・企画ディレクター)
パネリスト/池本 啓二 氏(北淡震災記念公園震災の語り部ボランティア事務局長)
加藤 英一 氏(気仙沼旅ガイドKOMPASS代表)
邱 雲辰 氏・黄 雅琪 氏(台湾静宜大学生)
- ③「次世代に伝え、広げ、繋げていくために」
コーディネーター/かもん まゆ 氏((-社) スマートサブライビジョン特別講師/防災啓発活動家)
トークゲスト/米山 未来 氏(阪神・淡路大震災2代目の語り部/会社員)
清水 葉月 氏((-社) スマートサブライビジョン特別講師/子ども・若者ファシリテーター)
川崎 杏樹 氏(釜石「いのちをつなぐ未来館」職員)
野々内 日向 氏(神戸大学ボランティアバスプロジェクト)

16:30
↓
17:50

第3部

▶クロージング

- 全体総括
山地 久美子(神戸大学地域連携推進本部特命准教授)
- 語り部宣言
米山 正幸(北淡震災記念公園総支配人)
金 千秋(エフエムわいわい代表理事)

懇親会

18:45 ~ 20:00

※会費4,000円(当日精算)

トークイベント

20:10 ~ 21:00

▶南三陸てん店まっぷ語り部座談会

ゲスト/佐藤 紀子 氏(佐長商店)/菅原 優 氏((-有)スガワラ電化)/
佐藤 典明 氏(サト・園芸)

2月26日(月)

※昼食代・入館料は自己負担

エクスカーションプログラム② 語り部バス オプションツアー(無料)	
【A.南三陸を学び、感じるコース】(午前のみ・フルコースの選択制)	
【10:30】ホテル→(徒歩)→海の見える命の森(語り部&施設紹介/約40分)→ホテル	
【11:45 ~ 12:45】昼食(海フードBBQ/昼食代2,200円)→	
【13:00 ~ 14:20】歌津地区語り部と「てん店まっぷ」めぐり→【15:00頃】ホテル帰着	
※午前のみコースは昼食までの参加となります。	

【B.石巻を学び、感じるコース】

- 【9:15】ホテル→【10:00 ~ 11:10】震災遺構・大川小学校での語り部→
【11:50 ~ 13:00】昼食・フリータイム(いしのまき元気いちば)→
【13:15 ~ 14:30】震災遺構・門脇小学校(外観のみ)～みやぎ東日本大震災津波伝承館
～MEET門脇見学(入館料300円)
【14:40】出発(※希望者は石巻駅送迎)→【15:30】ホテル帰着

シンポジウム参加申込書 FAX:0226-46-6200 Eメール:minamisanriku_somu@kanyo.co.jp

参加申込期限/ 2月15日まで

※会場準備の都合により、事前の参加お申込みにご協力ください。
(会場が定員になり次第締め切りとなります)

(ふりがな) 氏名		25日(日) エクスカーション プログラム①	☐ A.南三陸コース ☐ B.気仙沼コース
	所属等	第1部	☐ 参加する
	携帯電話	第2部 (1つ選択)	☐ ①「あの日、あのとき、わたしは」 ☐ ②「KATARIBEを世界へ」 ☐ ③「次世代に伝え、広げ、繋げていくために」
	住所	第3部	☐ 参加する
		懇親会	☐ 参加する ※会費4,000円(当日精算)
		26日(月) エクスカーション プログラム② (1つ選択)	A.南三陸を学び、感じるコース ☐ フル参加 ☐ 午前中のみ参加 ☐ B.石巻を学び、感じるコース
		シャトルバス 特別便 (25日(日)のみ)	【往路】仙台駅(10:20出発)→南三陸 ☐ 利用する 【復路】南三陸(18:30出発)→仙台駅 ☐ 利用する

※必要事項は全てご記入ください。 ※グループ・団体でご参加の皆さまもお一人ずつお申し込みください。